



## 若者 × 情熱

ミハラのチカラ

STORY 22

### いにしへの舞を守り続けたい

雅良会 がりようかい  
舂谷天さん ますや そら

約1300年前から伝承されてきた音楽や舞「雅楽」。国の重要無形民俗文化財に指定されているこの伝統芸能に取り組み1人の高校生がいます。大和町の舂谷天さん。華やかな衣装をまとい、勇壮で躍動感のある舞を披露します。

父・敏文さんが地元雅楽団の会長で、幼いころから雅楽に親しんできた舂谷さん。小学2年生から本格的に舞を始め、進学した高校では舞台芸術を専攻しています。

雅楽の舞は腰を落とした姿勢が基本。指先まで神経を使った動きが続き、相当な体力



「**抜頭**」と呼ばれる舞。全身を使って世界観を表現します

を消耗します。

衣装が重いためバランスを取りづらい、仮面を着けると視野が狭くなり、感覚で立ち位置をつかまなくてはならないなどの苦労も絶えません。1演目で約15分間もある舞を演じると酸欠状態に陥り、意識がもうろうとしたままで演じ切ることもある」と言います。

これらの苦労があるにもかかわらず、舞を続ける理由を舂谷さんは、「舞えるようになったときの喜びはもちろん、観客の皆さんから感動したと言われるのが嬉しいから」と笑顔で話します。

舞はテンポが不規則で独特な動き



が多いため、習得に1年以上かかることも少なくありませんが、雅楽団での練習、講習会や個別指導の受講で、演じられる舞の種類を増やしています。また、「日本の伝統文化を途絶えさせたくない」と後輩の指導にも力を入れています。

雅楽は「立ち居振る舞いや精神的な部分など、日常生活に生かされていることが多い」と言う舂谷さん。「いつかは『蘇莫者』という演目でお父さんと同じ舞台に立つ」という夢に向け、稽古を重ねます。

※このコーナーでは、スポーツや文化・芸術活動などに情熱を注ぐ若者や子どもたちを紹介します。

## 広島スカイアーチ

撮影エピソード 撮影者 ふなもとゆうそう 船本雄三さん

沼田川渓谷に架かる800mのアーチ橋。紅葉の中を真っすぐに伸びた白い橋は優雅で迫力もあり、いつまでも眺めていたい景色でした。



●撮影年月 平成29年11月  
●撮影場所 本郷町



### 写真・絵を募集しています

#### テーマ

～あなたが残したい三原の風景～

**応募資格** 市内在住・在勤・在学の人  
**選考** 総務広報課で選考

※応募作品の著作権は市に帰属し、市の公式フェイスブックで紹介させていただく場合があります。

※応募作品は返却しません。

**申し込み** 郵送またはEメールで写真(L判・データ)か絵(大きさは画用紙A3サイズまで)と①名前②住所・電話番号③撮影・制作日④撮影・題材場所⑤作品名⑥作品エピソード(70字以内)を総務広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848-67-6007 [somukoho@city.mihara.hiroshima.jp](mailto:somukoho@city.mihara.hiroshima.jp))へ